

<p><b>教科 (科目)</b></p> <p>国語 (現代文B・古典B)</p> <p><b>名前</b> (ふりがな)</p> <p>池邊 良介 (いけべりょうすけ)</p> <p><b>勤務校</b> (問い合わせ先)</p> <p>大分県立 大分豊府高等学校 住所：〒870-0854 大分市大字羽屋 600 番地の 1</p> <p>TEL 097-546-2222 FAX 097-546-2405</p> <p><b>授業公開の日程</b></p> <p>3年： 現代文B (国公立文系 応用コース) 火曜 5 限</p> <p>古典 B (国公立理系 標準コース) 水曜 7 限</p>	<p><b>1 授業の特徴</b></p> <p>① いかに生徒に考えさせるかを意識しています。 ② 「対比」「類比」「抽象」等の思考をメタ認知させるようにしています。 ③ 生徒の活動は「個」「ペア」「グループ」「全体」という単位を使い分けながら行っています。 ④ 生徒の記述答案の板書にもとづく評価をおこなっています。 ⑤ 古典の学習材によっては、訳から内容ではなく、内容から訳に切り込む形で授業をしています。</p> <p><b>2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項</b></p> <p>① 生徒の思考を深めるための効果的な発問のあり方。 ② 学習材の内容の対比、変化等を踏まえた構造的な板書のあり方。 ③ 生徒の記述答案の板書にもとづく評価、添削のしかた。 ④ 予習課題の作り方。 ⑤ 効果的な言語活動の組み方。</p> <p><b>3 研修講演等が可能なテーマ</b></p> <p>上記①～⑤と各種「読み」の理論について。</p> <p><b>4 活動実績</b></p> <p>ニチブン社 『中学校国語科教育 CD-ROM 版授業実践資料集「書くこと」の指導計画と学習指導』平成 17 年 (共同執筆) 明治図書『国語力をつける発問づくり 中学校』(平成 17 年 11 月) 共同執筆 明治図書「教育科学国語教育」(平成 18 年 4 月) 共同執筆 平成 16 年 7 月 日本国語教育学会 西日本集会 発表 平成 22 年 11 月 九州地区高等学校国語教育研究大会 発表 平成 28 年度「指導教諭をリーダーとしたチームによる授業改善の推進」協力者</p> <p><b>5 自己紹介、プロフィールなど</b></p> <p>指導教諭 4 年目となりました。昨年度は授業改善について他教科の先生方ともお話をさせていただく中で、多くの刺激をいただきました。自分にはこれができるものはないかもしれませんが、日々の授業の中で、生徒がいかにかに考え、活動できるかを常に模索しています。「共通テスト」導入を見据え、望ましい教科指導のあり方を先生方とともに考えることができると思っています。よろしくお願いたします。</p> <p><b>6 学校紹介</b></p> <p>大分県唯一の併設型中高一貫校で、「感動・理知・友愛」を校訓に「世界標準の学力・人間力」を目指して生徒たちは意欲的に学んでいます。「思考力・判断力・表現力」を育成する授業改善にむけて、全職員で取り組んでいます。</p> <p><b>7 学校や関係 HP のリンクなどアドレス</b></p> <p><a href="http://kou.oita-ed.jp/oitahoufu/index.html">http://kou.oita-ed.jp/oitahoufu/index.html</a> 以下の「大分県教育庁チャンネル」で動画が紹介されています。 <a href="http://kyouiku.oita-ed.jp/oita-channel/2017/07/">http://kyouiku.oita-ed.jp/oita-channel/2017/07/</a></p>
--	--